

令和7年度

大崎麦作情報 第5号

令和7年6月6日発行
宮城県大崎農業改良普及センター
TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910
<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

～今後の管理のポイント～

- 成熟期を見定め、適期の収穫を行いましょう。
- 適正な子実水分・品質となるよう、丁寧な乾燥・調製を行いましょう。

1 気象経過

- ・4月の気温は上旬は平年並で第2～4半旬まで高温、5月は上旬は平年並で中旬は高め、第6半旬は低温傾向でした。
- ・日照は、4月は第5半旬までは少照傾向が続き、5月中旬は多照その後は少照傾向でした。
- ・降水量は、4月第3半旬に67.5mm、5月第2半旬に61mm、5月第6半旬にも134mmのまとまった降雨がありました。

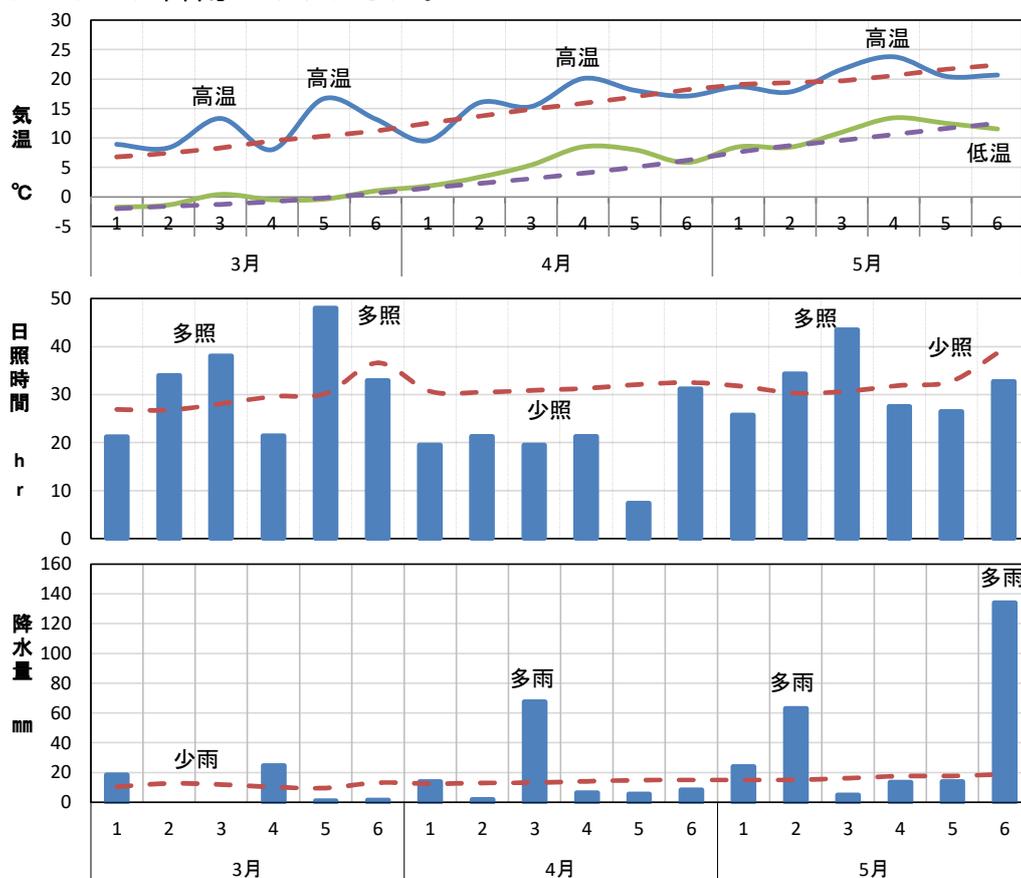


図1 気象経過（アメダス古川）※実線と棒グラフは本年値，点線は平年値

2 今後の生育ステージの見通し

小麦「シラネコムギ」

- ・ 出穂期は平年より3日早い5月3日となりました。成熟期は小麦で出穂後45～50日にあたる6月17～22日頃と予測されます。
- ・ **収穫作業の目安は、成熟期後3日頃にあたる6月20日～6月25日頃と予測**されます。

表1 「シラネコムギ」生育ステージ（実測と予測）

地区名 品種名	播種日			出穂期			成熟期（予測）		
	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年	平年
古川 シラネコムギ	10/19	-1	-5	5/3	+4	-3	6/17 ～6/22	6/14	6/20

※ 播種日と出穂期は確定日

3 今後の管理

(1) 収穫作業

○ 収穫時期

- ・ 成熟期は「茎葉及び穂首部が黄化し、粒がほぼロウぐらいの硬さに達した時期」となります（表2）。この時期の穀粒水分はかなり幅があり、概ね32～45%です。
- ・ **収穫作業は子実水分30%以下（成熟期後3日頃）を目安**に行いましょう。
- ・ 生育のバラツキが大きいほ場では、生育の正常な株に焦点を合わせて判断しましょう。

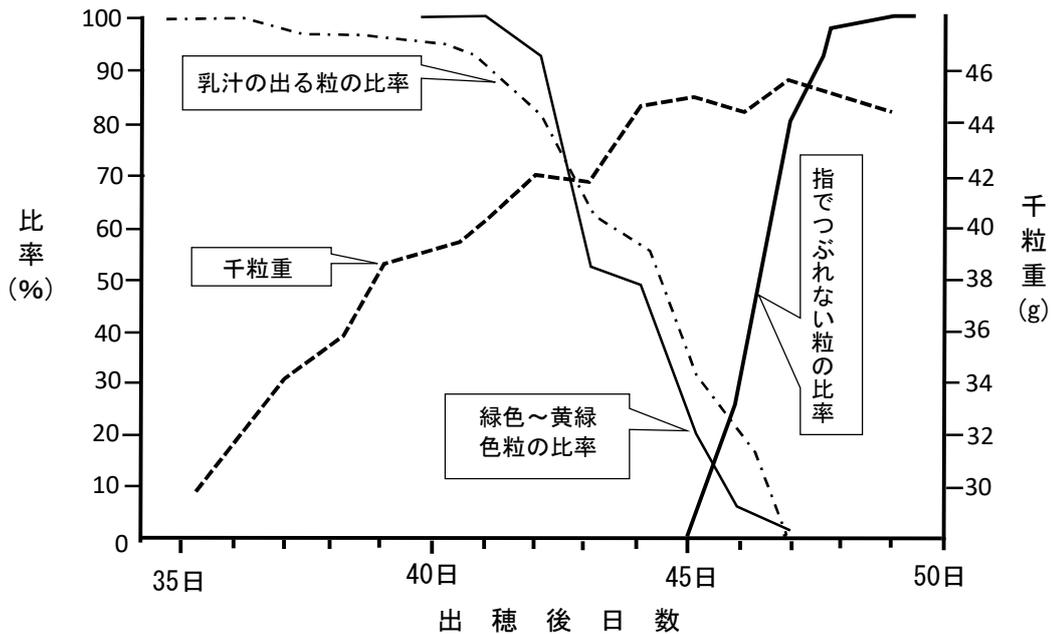


図2 小麦出穂後の日数と粒の成熟

表2 成熟期の判定

外観の色	茎葉及び穂が黄色くなった頃
子実の色	褐色
子実の硬さ	指で押さえて乳汁が出ない口ウ状の硬さ

○降雨後の刈取り

- ・ 麦の収穫は梅雨時期と重なるため、やむを得ず高水分状態で収穫しなければならない場合があります。穀粒水分が高いほど選別不良や損傷粒が増加するので、扱胴の回転数は低め（稲用）に設定しましょう。
- ・ 切替えができない機種では、スロットルでエンジンの回転数を下げ、作業速度の低下や刈取条数を減らすなど、扱胴への穀粒流量を少なくさせましょう。

○刈分けによる品質低下の防止

- ・ ほ場内で部分的に穂数が不足しているなど生育ムラが大きい場合は、未熟粒の混入を防ぐため、登熟状況に応じて刈分けを行いましょ。
- ・ 赤かび病の被害が見られるほ場については、健全な子実への赤かび粒の混入を防ぐため、被害株の刈分けや仕分け乾燥・調製を行いましょ。

(2)乾燥・調製作業

○乾操作業

- ・ 収穫後、袋等に詰めそのまま放置すると、水分が高いほど短時間のうちに穀温が上昇し、熱損粒発生の原因となります。刈取り後は速やかに乾燥機に張り込み、通風させましょ。
- ・ 循環型乾燥機を使用する場合は、表3を目安に送風乾燥を行いましょ。

表3 子実水分と送風温度の目安

子実水分（検査時）	送風温度	
小麦	標準	高水分麦（張込量は60～70%）
12.5%以下	50～60℃	穀粒水分30%以下になるまで低めの温度 30%以下になったら標準の乾燥温度

○調製作業

- ・ 乾燥が終了したら風選、篩選等で選別します。**網目は小麦では2.4mm以上**とし、高品質生産に努めましょ。

東北地方 1 か月予報

(6月7日から7月6日までの天候見通し)

令和7年6月5日
仙台管区气象台 発表※抜粋

<向こう1か月の天候の見通し>

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	10	80
【降水量】	東北地方	30	30	40
【日照時間】	東北地方	40	30	30

<気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	10	10	80
2 週 目	東北地方	10	20	70
3～4 週目	東北地方	10	30	60

◆◆◆◆春の農作業安全確認運動実施中(3月1日～6月30日)◆◆◆◆

農業機械作業による死亡事故割合が高い状況を踏まえ、安全対策として、①ほ場周辺の危険箇所の確認・改善及び危険回避行動の実践、②シートベルトとヘルメットの着用の徹底、③安全フレーム・キャブ付きトラクターの使用を心がけましょう。

令和7年 農作業安全確認運動スローガン 「徹底しよう!農業機械の転落・転倒対策」
重点推進テーマ 学ぼう!正しい安全知識

～農業機械作業研修・熱中症対策研修の拡大と充実、未熟練農業者への研修実施～

◆◆◆◆農薬危害防止運動実施中(6月1日～8月31日)◆◆◆◆

6月から8月にかけて、農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

運動のテーマ 「使用前、周囲よく見て ラベル見て」

「大崎地域の稲作技術情報」,「大崎地域の大豆作技術情報」,「大崎地域の麦作技術情報」は、当普及センターのホームページでもご覧いただけます。インターネットで「大崎農業改良普及センター」と検索または右のQRコードを読み取ってください。

